

「深い学び」を具現する授業デザイン例 外国語活動・外国語(小)

学習指導要領における領域・内容

小学校〔第5学年及び6学年〕〔思考力、判断力、表現力等〕

(2) ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。(関連領域「聞くこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」)

本時のねらい

身近な人や地域の人を英語で伝え合う活動を通して、「学校や地域のことをもっと知りたい」というALTの先生のために情報を整理して紹介することができる。

授業アイデア例	学習者の視点	授業者の視点
 <p>あ、2組の先生！ ピアノが上手だから・・・ She can play the piano.</p>	 <p>「2組の先生といえば、ピアノ」だけど、 校長先生のことは意外だったなあ。</p>	 <p>Look at these pictures. Who is this woman? What can she do? Who is this man? What can he do?</p> <p>That's right! She can play the piano well. How about 校長先生? He is our principal. He can play badminton.</p>
<p>「校長先生」は英語で、 pri... prin...</p> <p>体育の授業にも来てく れたよね。He can swim.</p>	<p>Pincipal. He is our principal.</p> <p>校長先生のこと、もっと伝えて みない？ 毎日会う先生だし。</p> <p>fastとかwellとか使う？ クロール速かったよね！</p>	 <p>I want to know the people in this school and this town. Please tell me more.</p> <p>ALTの先生の生活がもっと楽し くなるように、身近な人や地域の人 を紹介しよう。</p> <p>※ この段階では正確な英語は求め ず、誰にどんな内容を伝えるかを意 識させる。</p>
<p>そういえばALTの 先生は、朝食はパン って言ってたね。</p>	<p>近くのパン屋さんを紹介 すると喜んでくれるかも。</p>	 <p>Let's share your ideas with the classmates.</p> <p>Oh, really? New information for me. I'll talk to him later. Thank you.</p>
<p>視点⑫</p>  <p>Mr. Suzuki is our principal. He can swim well. He can run fast.</p> <p>自分が伝えたことが相手の 役に立てたらうれしいな。 ALTの先生が知りたいこと をもっとさぐってみよう！</p>	 <p>Ms. Kato is a baker. She can bake bread well. I like hot dogs. Yummy!</p> <p>・友達が使っていた表現を、自分の発表の参考にできた。 ・ALTの先生に、自分の地域のことをもっと伝えたい。</p>	 <p>Interesting! I want to go there. I want to eat hot dogs. Thank you.</p>

本時における「深い学び」を具現する仕掛けや発問

□ 「ALTの先生の生活がもっと楽しくなるように」という伝える目的を提示する。このことにより、相手意識と学習経験を駆使し、「見方・考え方」を働かせることで、考えの広がりや深まりが期待できる。他教科等との関連や、他者や地域社会とつながるグローバルな視点で単元構想を進めたい。(視点P→視点⑫)